

事業所名

児童支援センター音色学園(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

平成 7 年

1 月

10 日

法人(事業所)理念	当法人はノーマライゼーションの理念に基づき、地域社会で子どもたちが当たり前で暮らそう、個性を尊重した質の高い支援を提供します。すべての子どもがその能力や才能を最大限に発揮できるよう、個別のニーズに応じたサポートを行い、継続的な成長を支援していきます。				
支援方針	【全体的な発達を支える支援】 あたま・からだ・こころのバランスを大切にし、個別のニーズに応じた支援の提供。 【できそうなことに着目した支援】 達成感を味わうことで自己肯定感を高め、次のステップに進む意欲を引き出す。 【自立心を育む支援】 自立した生活を送るため必要な力を育て、将来的に自分で決定し行動できるようにする。				
営業時間	10 時	分から	17 時	45 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善、生活リズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得の支援。 来所時の検温にて体調の把握を行う、身体のみでなく心の状態についても把握できるよう子どもたちの特性に合わせてきめ細やかな観察を行う。 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身につけ、身の回りを清潔にし、基本的な生活習慣を身につけられるように支援する。			
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上、姿勢と運動・動作の補助手段の活用、保有する感覚の総合的な活用の支援。 ゲーム要素を取り入れた運動遊びを通して身体を動かす楽しさを感じると共に、筋力や体力、柔軟性、バランス能力を高め、体の動かし方や動作や姿勢の改善を支援。 習字・音楽・工作を通して様々な素材の感触やにおい、音などを感じ五感を育み想像力や思考力を養う。 姿勢保持や運動・動作が困難な場合は適切な補助具を活用。			
	認知・行動	認知の発達と行動の取得、空間・時間、数等の概念形成の取得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得の支援。 数量、大小、色、空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援を行う。 運動遊び、芸術活動、視覚的スケジュールの提示等など五感の刺激を活用し、心理的な安定や認知機能の改善、行動の調整力を養う。 遊びの中で簡単なプログラミングに触れながら、未来に必要なスキルを楽しく身につける支援を行う。			
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用、言語の需要及び表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上、コミュニケーション手段の選択と活用空間・時間、数等の概念形成の習得の支援。 言葉だけでなく指差しや身振り、ジェスチャーやサイン、絵カードなどのコミュニケーション手段を選択・活用し、子どもに合わせた支援を行う。 生活・活動・遊びの中で職員と一緒に適切な言葉を選びながら気持ちを伝え合う練習を行う。			
	人間関係 社会性	他者との関わり(人間関係)の形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加の支援。 模倣、ごっこ遊び、ルールのある共同遊びなどを通して社会性の発達を支援する。 日常的な場面での実践的な練習を通じて、言語とコミュニケーション力を養う。 人との関わりや集団行動に必要なスキルを習得するための訓練を個別で行う。 社会性を身につけるために外出の機会を設け、実際の場面でのコミュニケーションやマナーを学べる支援を行う。			
家族支援	子育てに関する困りごとに関する相談援助。 子どもの成長の共感・確認。 家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供。 家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための延長支援。 きょうだいに対する相談援助。	移行支援	地域・園と連携をしながら、子どもの社会性やコミュニケーションスキルの向上を支援し、仲間づくりの進歩を定期的に確認や継続的なサポートを行う。 切れ目のない支援が継続して受けられるために、関係機関との連絡調整や相談援助を行う。		
地域支援・地域連携	相談支援事業所等の関係機関との連携の強化を図る。 関係機関と連携を取りながらサポートを行う。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職員研修</li> <li>・スキルアップのための研修</li> <li>・法定研修</li> <li>・防災に関する研修</li> <li>・強度行動障害支援者養成研修</li> </ul>		
主な行事等	防災訓練 面談 クリスマス会				